



第5回「環大コンペ」の 入賞企画が決定

「環大コンペ」とは、「鳥取環境大学を支援する会」の主催により、大学生活の向上あるいは地域社会へ貢献する優れた企画を実施する学生団体を募集し、企画内容のプレゼンテーション等を経て、優秀企画(団体)を選考・活動資金を授与されるものです。なお、このコンペは2004年度に始まり、今年度が第5回となります。授与式に際して同会の清水昭允会長より、「素晴らしい発想と継続性がある企画が見られ、しっかりと後輩に伝承されていると感じた。また、駅伝チームの結成は画期的であり、参加した大会全てで完走するなど、学生ならではのチャレンジ精神も大いに評価したい。」とコメントを頂き、受賞団体の代表者達は、このコンペの意義を改めて認識していました。また、同会より、本学学生ISO委員会へエコプロダクツ2008への参加支援金として、別途10万円贈呈して頂きました。

【第1位】

鳥取環境大学キャンパスリユース2008 キャンパスリユース運営本部(10名)

環境活動の一環として、リユースの意義を学内外に広く認知してもらうため、不要になった家具・家電を集め、新入生に安価で提供。

【第2位】

日本列島を軽くしよう!~ JUMP ~ 学生ISO委員会(7名)

本学学生及び全国各地の環境団体が「同日同時刻」に各地域で清掃活動を行い、正午ちょうどに拾ったゴミを持って一斉にジャンプ。清掃活動を楽しみながら、環境活動の活性化・意識の向上並びに環境団体同士の繋がりを作ることを目的とする。

【第3位】

SAKYU自由楽園7月DAYキャンプ SAKYU自由楽園部(30名)

鳥取砂丘を舞台に、世代間交流を目的とした様々な野外活動プログラムを実施。



【奨励賞】

竹林を中心とした里山再生プロジェクト SYNCHRO(21名)

若葉台にある産業技術センター裏の竹林を森林公園化することを目的として、竹林整備を行っており、その一環として若葉台小学校6年生を対象に竹林に関したイベントを実施。

【奨励賞】

鳥取環境大学駅伝チームの結成

鳥取環境大学駅伝チーム(14名)

本学駅伝チームを結成して鳥取県内の駅伝大会に積極的に出場することで、学生並びに大学のモチベーションを上げる。

【参加賞】

100万人のキャンドルナイト(鳥取環境大学の聖火)

同好会学生NPO CrossRing

ダイガクノミネーション2008

同好会学生NPO CrossRing

環境省ストップ温暖化一村一品事業参加 TUES地球温暖化を考える会

TUESCUP

TUES FUTSAL CLUB

秋のスポーツ大会 2008 in TUES

平成19年度クラブ会

平成20年度 学生年度表彰

学年は当時のものです。

課外活動/体育 個人

小早川 貴子(環境政策学科4年)

第48回中国地域弓道選手権大会一般女子個人戦優勝、第35回山陰学生弓道大会 女子個人優勝(最高の中者)等。

井出 梨英子(環境政策学科1年)

第14回中四国学生弓道新人戦 女子個人2位、第35回山陰学生弓道大会 団体2位の団体メンバー等。

課外活動/体育 団体

弓道部女子団体

第35回山陰学生弓道大会 女子団体2位、第54回中四国学生弓道選手権大会 女子団体9位等。

課外活動/文化 個人

中村 未来(環境デザイン学科3年)

鳥取県農林水産部主催の県産木製ベンチ・デザイン試作品の選考委員会において優秀賞を受賞。

岡垣 頼和(環境デザイン学科4年)

「安土城惣見寺再建学生コンペ」に、同年代の類別を徹底的に涉猟し優秀賞(第2位)を受賞。

社会活動 団体

SAKYU自由楽園部

鳥取砂丘を舞台に大学生が作ったオリジナルのイベントを催し、小・中学生の新しい出会いを演出し、子供たちの人間的醸成に寄与。

美術部

「2009鳥取・因幡の祭典」の「世界砂像フェスティバル」をPRするため、砂像制作の補助作業を行い大学のPRにも貢献。

マイコンアプリ研究会

第32回鳥取こどもまつりの実績や第24回鳥取県技能祭で操作体験コーナー等を実施し技能祭成功に貢献。

課外活動/環境 団体

環境部

学外での地域活動と環境イベントに積極的に参加し地域の環境意識の向上に貢献。

学生ISO委員会

学内一斉清掃をはじめ、鳥取市市街地一斉清掃など学内外の美化活動に積極的に取組み、地域の社会活動に貢献。

グリーン購入研究会

これからの未来を背負う子どもたちにグリーン購入に関心を持ち正しい知識を付けてもらうために工夫をしながら活動。

アクティビティ 個人

城島 正樹(環境政策学科4年)

この一年間、主に学友会執行部、しゃんしゃん祭りの踊り子リーダー、環謝祭実行委員、卒業アルバム製作委員として活動。

坪内 康恵(情報システム学科4年)

平成19年度電気情報関連学会中国支部第58回連合大会で優秀論文賞を受賞。

山田 遼司(環境政策学科2年)

環謝同好会を部長として設立後、学生の成長と繋がりを意識したイベント等により、学生の意識向上に貢献。

アクティビティ 団体

平成20年度環謝祭実行委員会

第8回環謝祭の準備・実施において中心的な役割を果たし、学内を盛り上げ大学の活性化に貢献。

平成20年度学友会執行部

学生生活の発展を目指し、大学との意見交換会において学生からの意見を集約し、それを現実すべく大学側と交渉を行ってきた。

同好会 学生 NPO CrossRing

「中国青年と交流会」に参加、「環大コンペ」4位入賞。「冬至100万人のキャンドルナイト 冬のぬくもり」主催等。

平成19年度クラブ会

学科・学年・教職員の垣根を越え、スポーツを通じて交流できる場を提供。参加多くの学生や教職員から幅広く支持された。

平成20年度 卒業生・修了生表彰

成績優秀

阿部 千春(環境政策学科)

今城 愛(環境デザイン学科)

船木 麻由(情報システム学科)

本学における学業成績が特に優秀であると認められるため。

課外活動/体育 個人

小早川 貴子(環境政策学科)

第50回西日本学生弓道選手権大会 個人準優勝、第48回中国地域弓道選手権大会 女子個人1位等。

課外活動/文化 個人

安藤 悠(建築デザイン学科)

本学に入学後本格的に英語を学んだにもかかわらず、TOEIC(IPテスト)で830点という驚異のハイスコアを残した。絵の才能も優れている。

岡垣 頼和(建築デザイン学科)

火災で廃墟になった惣見寺の本堂復元を競う「安土城・惣見寺」再建・学生競技設計(コンペティション)で優秀賞(全国2位)を受賞。

社会活動 個人

井土 洋志(環境政策学科)

「SAKYU自由楽園」部を立ち上げ、社会貢献活動をし、同好会から部へ昇格するほど活発に活動した。大学の活性化に貢献。

遠藤 慎也(環境政策学科)

鳥取大学との合同サークル「charider同好会」に所属。大学の活性化に貢献。

阿部 千春(環境政策学科)

高砂屋での「産直市」を立ち上げ、在学中の成績もトップクラスで、学業に真摯に取り組む姿勢は、他の学生の模範となった。

社会活動/環境 団体

大高 望(環境政策学科)

バリ島で開催された気候変動枠組条約第13回締約国会議に、ボランティアスタッフとして参加。環境省の事業「ストップ温暖化、一村一品大作戦」の一環である「ちょっと待った温暖化・とっぴり知恵くらべ大作戦」では選考事務局として活躍。

アクティビティ

城島 正樹(環境政策学科)

主に学友会執行部、しゃんしゃん祭りの踊り子リーダー、環謝祭実行委員、卒業アルバム製作委員、3年次にはクラブ会長として活躍。

山口 宏(環境政策学科)

「サッカー部」、「TUES FUTSAL CLUB」、「さくる手話!同好会」所属。手話の普及に励み、ハンディキャップをもった学生の模範であった。

坪内 康恵(情報システム学科)

大学・高専・社会人研究者の発表の場である、「平成19年度電気・情報関連学会中国支部第58回連合大会」で発表、優秀論文賞を受賞。

難波 福弥(情報システム学科)

大学院に在学中に研究活動を熱心に行い、第1著者として外部の学術会議にて数々の業績を上げている。

アクティビティ/環境

加藤 雄介(環境政策学科)

学生ISO委員会委員長に2年生の時に就任し、温厚な人柄でリーダーシップを1年間、発揮した。

